

# ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp

48号

2012.5.20(48)  
 東京公害患者と家族の会  
 文京区小石川5-34-12  
 アビタマツモト2F  
 TEL03-5802-2170 FAX03-5802-2377  
 ぜん息110番  
 03-5840-8446

## 雨にも負けず！ 風にも負けず！ 座り込みで訴えます！！

5月10日(木) 12時～15時まで  
 東京都庁前通りでの  
 第3回目座り込み宣  
 行は座り込みをし  
 て行いました。突  
 然の大雨の予報が  
 出たので、座り込  
 んだにもかかわらず  
 座り込みました。東  
 京保健医療協会の  
 評・地球協等東京  
 体と支帯の各団  
 励と連帯の挨拶を  
 いただきました。雷  
 激しい雨風になり  
 ました。後半は  
 患者が次々と訴  
 えの継続を求め



裁判中はよく座り込みを  
 しました。原告だった患者  
 は久しぶりの座り込みです  
 が、裁判後に入会された患  
 者のみなさんは初めての体  
 験です。「東京都はぜん息  
 医療費助成制度の継続を」  
 と書かれた横断幕を持って  
 座りました。



小川さん  
 社会保障協議会事務局長  
 前沢さん



北支  
 部の小柳さん



ぜん息医療費助成制度の継続求める  
 石原都知事宛の手紙提出250通に

## 都庁前で座り込みをしました

6月7日も座り込みを予定しています(4面に)



足立支部のみなさん

5月1日は代々木公園と  
 井の頭公園に分かれて、署  
 名活動をしました。  
 今年のメーデーはいつに  
 なく悪天候で、雨が降つた  
 り止んだりの繰り返しでし  
 た。代々木公園は25人の参  
 加でした。井の頭公園は残  
 念ながら4人の参加でした  
 が、新緑の美しい井の頭公  
 園は一度来たら病みつきに  
 なる人が多く、今年も新緑  
 の中で署名取りは時間を  
 忘れるほどでした。

メーデー  
 会場で署名  
 約800を集めました

## 予定とお知らせ

- 6月  
 2日(土) 14:00 雷門前医療共闘宣伝(民医  
 連東部ブロック・医療労働組合共催)  
 3日(日) 13:30～合同幹事会  
 4日(月) 13:00～総行動実行委員会  
 5日(火) 11:00 全国公害被害者総行動  
 18:00 総決起集会  
 6日(水) 8:30 早朝宣伝、企業交渉  
 7日(木) 13:30 北区あおぞら連絡会総会  
 15日(金) 12:00 都庁前座り込み  
 18:30 江東・墨田あおぞら連絡会  
 21日(木) 19:00 足立あおぞら連絡会  
 22日(金) 18:00～あおぞら常任理事会  
 23日(土) 10:00～三役会議  
 28日(木) 18:30 板橋あおぞら連絡会総会  
 7月  
 6日(日) 9:30 第9回東京地方自治研究会  
 明治大学駿河台キャンパス  
 13:00 分科会「住環境・まちづくり」

## 小石川植物園 新緑ウォーキング



4月22日(日)当日午後  
 から雨の予報を聞き、お  
 弁当の予約をするかどうか  
 悩みながら、実行する  
 ことに...  
 35名の参加、お天気が

心配で先にお弁当を食べ  
 ることになりました。色々  
 な差し入れもあり、おしゃ  
 べりがはずみです。  
 そして新緑の公園をウォー  
 キング、満開の「八重桜」  
 「花ざおう」「つつじ」  
 と枝ぶりの良い「もみじ」  
 のトンネルは眺めていた  
 だけでも気分爽快でした。  
 日本庭園、池もあり薄  
 日が差し始めた中の、の  
 んびりウォーキングでし  
 た。  
 美味いきれいな空  
 気をたくさん吸ってしま  
 した。  
 武井綾子



## 全国公害被害者 総行動参加と カンパのお願い

6月5日(火)～6日  
 (水)二日間に渡って行  
 われます。各支部で参加  
 確認をとっています。参加  
 可能な方はご参加を  
 お願いします。  
 また4月号のユズリハ  
 に同封いたしました、総  
 行動カンパもまだ受け付  
 けていますので、合わせ  
 てお願いいたします。

## 座り込み・手紙提出 都庁前宣伝行動

8月までに東京都は、  
 ぜん息医療費助成制度  
 継続の方向性につ  
 て話し合うと言つて  
 います。残された時  
 間で、できることを  
 精一杯続けます。  
 予定日時 12時  
 次回6月15日(金)  
 次々回7月20日(金)

## 文京支部学習会

日時 6月25日(月)  
 場所 東京健生病院  
 内容 最新ぜん息の  
 対処法  
 講師 加藤冠医師  
 (健生病院副院長)  
 文京支部以外の方も  
 大歓迎  
 申込みは 向田さん  
 09048319170  
 へお電話ください

## 患者会 無料 法律 相談

6月3日(日)  
 12時～13時  
 患者会事務所  
 患者会の担当弁  
 護士による、親切  
 丁寧な相談会です。  
 (法律相談希望の方は  
 電話予約下さい)

# 全国公害患者の会連合会 第17回大会成功

2012年 5/20~5/21 岐阜羽島 かんぽの宿

全国から60名の代議員・評議員が参加 東京からは9人が代議員として参加!

秋元正雄・増田重美・石川牧子・繁野義雄・小澤廣子・小林忠男

武井綾子・進藤光子・神山咲子

## 各地からの報告

1. 新たな救済制度を  
求める運動の意義

2. 公害認定患者の権利  
と生活を守る運動に  
ついて

全国連合会に加盟している  
北九州・大牟田・倉敷・大阪・  
四日市・名古屋・横浜・川崎・  
東京・千葉の患者会が結集して、  
次期大会(2年後)までの方針  
を討議して採択されました。

**千葉**  
会員が年々減ってしま  
いで、なかなか活動  
が元気がもたらえる。  
自分のできることを、署名を頑  
張ろうと思ひ、必死で集めた。

**大阪**  
会員の高齢化に伴  
ない、施設に入所する患者が多  
なつた。高齢者施設は慢性病の  
治療はしないので、公健法の認  
定患者の場合はぜん息等の治療  
が受けられない。  
患者の病状管理面、また医療  
実績が無いために認定を外され  
る恐れもあり、問題がある。

# 患者会の支部活動報告

## 文京支部

### 東京健生病院で 説明会

「患者会未入会の  
患者も多数参加で  
4/18(水)東京健生病院にて  
「条例認定説明会」が開催され  
18名の参加がありました。文京  
担当の村崎弁護士が講師をされ  
「条例認定制度の現状と課題そ  
して皆様の置かれてる立場」  
等につきわかり易く説明され大  
変好評でした。

更新については知って  
いても5年後の見直しにつ  
いてはほとんどの方が知ら  
ず、ましてや(東京都幹部が  
金が無いから一部個人負担の導  
入)などの改善については全  
員が知らず、ビックリしてい  
ました。  
「認定以前は医療費を払うの  
が大変で、多少悪くなるのを覚  
悟のうえで自分で受診制限をし  
たりして何とかやり繰りしまし



た。やっと医療費負担が無くな  
り順調に喘息をコントロール出  
来る様になりホッとしていたの  
もつかの間、何故なんですか、  
そんな意地悪をしないで下さい」  
等の意見も出ました。  
その辺は村崎弁護士が丁寧に  
説明され、皆さんの団結とノー  
と云う姿勢が必要なのです。出  
来れば患者会に入会され、皆で  
この制度を改善させないよう  
頑張りましょう。この様な雰  
囲気の説明会でした。  
私達もこの条例制度の改善を  
阻止しなければと強く認識した  
集会でした。アンケート回答者  
については入会を促す方向で対  
応するつもりです。(向田清)

東京患者会は全国で会員数  
が最大になりました。運動面  
からも多面的な活動を進めて  
いることなどから、全国連合  
会の牽引役を担う立場になり  
ました。  
全国幹事会の幹事も今大会  
から4名の選出で最多となり、  
大きな期待と責任を重く受け  
止め頑張ります。

全国連合会	幹事名
代表委員	西順司
幹事	秋元正雄
幹事	増田重美
幹事	石川牧子



活動報告をする、千葉患者会の清水さん

足立支部 鈴木さんの  
等級引き下げに対する  
支部事務局長  
小池さんの  
意見陳述

公害健康被害補償法認定二級  
から三級に引き下げの決定は不  
当であるとして、足立支部事務  
局長の小池さんが「認定審査会」  
で意見を述べました。  
「私は鈴木さんと一緒に行動  
しているが、少しでも早足にな  
ると喘鳴が始まり、階段を昇る  
と息苦しさを現す。」  
「本来尊重されるべき主治医  
の診断とは違う等級引き下げ判  
断をするのはおかしい。元の二  
級に戻すよう強く要望する。」  
病院のコーナーで点滴の針を  
刺したまま、患者会のために来  
院者に呼びかける鈴木さんです。

公健法認定患者は、病気の  
症状により一番重い特級・一  
級・二級・三級と等級に応じ  
た生活補償が支給されます。  
等級が引き下げられることは、  
生活に直結する問題です。ま  
た公健法認定患者が、権利を  
守ることは制度を守ることに  
なります。公健法を揺るぎないも  
のにしなくては、新たな救済制度  
の実現は不可能です。

# 公害対策 まちづくり

## 目黒区現地調査



大橋ジャンクション付近の道路調査

一緒に参加された住民  
の方々ほとんどが女  
性ですが、近隣の方  
々と協力して屋内緑化  
を強く要求し、運動を  
重ねて実現に貢献され  
たとのこと。目黒  
区は区議の先生・住民  
の方が率先して「まちづくり」  
に取り組んでいるのがうらやま  
しく重宝しました。  
私は大和町交差点近くに住ん  
でおり、大和橋交差点には興味  
がありましたので、体感してみ  
たいと思っていました。  
短時間でしたが、車の交通量  
が多く、何とも騒々しく、空気  
もよどんで汚く激甚交差点と実  
感しました。(渡辺廣子)

4月28日(土)「目黒環境再  
生まちづくり」現地見学会があ  
りました。  
患者会から12名、目黒あおぞ  
ら連絡会の方々12名と一緒に参  
加させていただきました。目黒  
区議の森美彦先生の事務所、  
先生の説明を受けた後、ビルの  
屋上よりジャンクション屋上緑  
化を見学しました。

